

若者の出世欲

出世欲を持つ若者の増加:

- 近年、若手社員の間で「出世したい」と考える割合が増加傾向にあります。
- 例えば、平成元年入社の社員と比較して、平成30年入社の社員の方が「必ず出世したい」と答えた割合が高いという調査結果があります。
- 出世を望む理由としては、「給与が上がるから」という金銭的な理由に加え、「責任ある仕事ができる」「自己成長を実感したい」といった理由も挙げられています。

出世欲が低いとされる若者の傾向:

- 一方で、「最近の若者は出世欲がない」という声も依然として存在します。
- これは、ワークライフバランスを重視する傾向や、必ずしも出世を目標としない価値観が広がっていることが背景にあると考えられます。
- 出世を望まない理由としては、「責任が重くなる」「仕事が増える」「仕事と家庭の両立が困難になる」といったものが挙げられます。

多様なキャリア観:

- 出世欲の有無は、個人の価値観やキャリアプランによって大きく異なります。
- 「出世して管理職になる」ことをキャリアアップと捉える人もいれば、「専門スキルを磨く」「新しい業務に挑戦する」ことをキャリアアップと捉える人もいます。
- Z世代を中心に、多様な働き方やキャリアアップの形を模索する傾向が強まっているとも言えます。

まとめ:

若者の出世欲は、一概に高い・低いと判断できるものではなく、個人の価値観やキャリアプランによって多様な考え方があると言えます。企業は、若者の多様な価値観を理解し、それぞれのキャリアアップを支援していくことが求められます。